

# チェスター ビーティー ライブラリー

Dublin Castle Dublin 2



月曜～金曜 11:00 am - 5 pm

(5月～9月)

火曜～金曜 11:00 am - 5 pm

(10月～4月)

土曜 11:00 am - 5 pm (年中)

日曜 11:00 am - 5 pm (年中)

祝祭日休館

(バンクホリデー、グッド・フライデー、  
クリスマス (12月24日～26日)、元日)

入館料無料

Dublin Castle

Dublin 2

電話: 353 (0) 1 4070750

ファックス: 353 (0) 1 4070760

www.cbl.ie

LEABHARLANN  
**Chester  
Beatty**  
LIBRARY

# チェスター ビーティー

ライブラリー

チェスター・ビーティー・ライブラリーは、世界的、文化的、宗教的に重要な美術品世界への扉を開きます。チェスター・ビーティーには、アジア、中東、北アフリカ、ヨーロッパ諸国からの写本、版画、偶像、ミニチュア絵画、早期印刷本、骨董品などが展示されています。一人の人物によって収集されたとは思えないその豊かなコレクションをどうぞお楽しみください。

チェスター・ビーティー・ライブラリーの主要展示品は、エジプトのパピルスに書かれた文書、美しく飾られたコーラン、聖書、ヨーロッパ中世及びルネッサンス時代の写本などです。トルコやペルシアのミニチュア、素晴らしい仏教絵画、中国の龍袍、日本の木版画なども展示されています。この多彩なコレクションは、紀元前2700年頃から現在に至るまでの人類の豊かな創造的表現を捉えています。



コレクションは、アメリカ人の採鉱王アルフレッド・チェスター・ビーティー卿により一般の人々に遺贈されました。熱心な美術品収集家であったビーティー卿は1950年にアイルランドに隠退し、1968年にこの世を去るまでダブリンで多くの時間を過ごしました。そして、ライブラリーは1969年に公益信託財団になりました。

主要展示ギャラリーはダブリン城時計塔の近代増築部分にあります。ライブラリーは1999年11月にこの建物に移転しました。18世紀の建造物であるこの時計塔は、1990年代にチェスター・ビーティー・ライブラリー用に修理、再設計されたものです。

ライブラリーには、CBLギャラリー（常設及び特別展示）、閲覧室（所蔵品に関する一般、及び研究図書館）、教育福祉プログラム、専門家、研究者向けのサービスなどがあります。





# CBL ギャラリー

ダブリン城の庭を通り抜けると、チェスター・ピーティー・ライブラリーがあります。ガラス天井の玄関ホールは、18世紀の建物と専用に建てられた新しい展示ギャラリーをつなぐ洗練された近代的空間です。1階では、アルフレッド・チェスター・ピーティー卿の一生とその素晴らしい美術品収集についての視聴覚プログラムをお楽しみいただけます。また、講義室、レストラン、お店もこの階にあります。



CBLギャラリーは、2階と3階にあります。

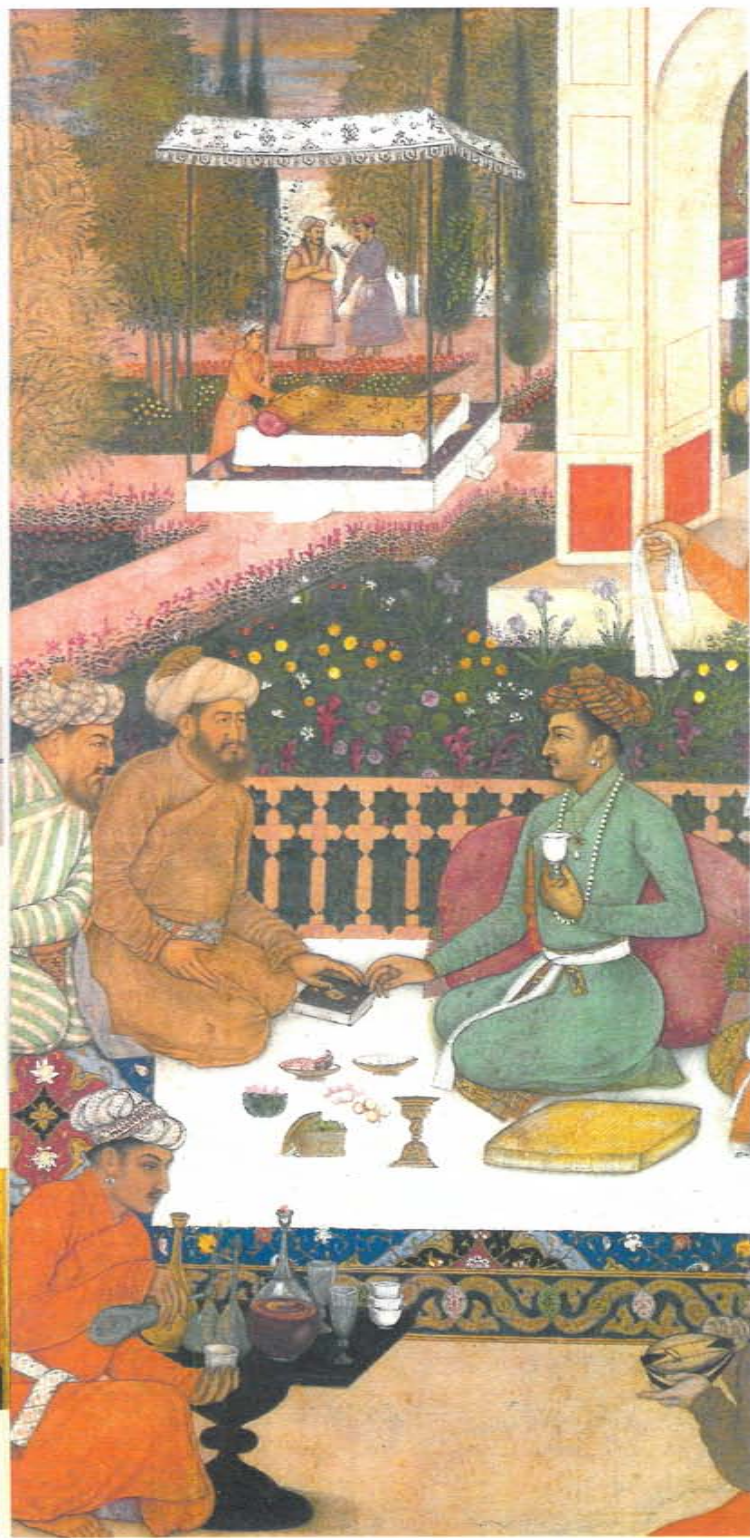
2階のギャラリーには、ピーティー卿の一生とその美術収集に関する展示を通して入ります。彫刻家キャロリン・マルホランドによるピーティー卿の優れた胸像が、ピーティー卿の功績を語る文書や記念品の展示に来館者の方々にご覧いただけます。



このギャラリーの主要展示品は、西洋、イスラム、そして東アジアからの美しい美術品です。ここでは、世界随一の中国翡翠本コレクション、また日本で印章や葉の保管に使われた小箱である印籠の繊細な模様などをご覧いただけます。その他、インドのムガル帝宮廷のミニチュア絵画、ペルシアの美しく装飾された写本、ヨーロッパの上質な印刷本、製本、描画、また世界各地から集められた美しいカリグラフィーなども主な展示品に含まれています。視聴覚プログラムでは、印刷、製紙、製本の技術を紹介しています。



2階のギャラリーは、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教及びヒンズー教を含めた世界の宗教に関する展示です。視聴覚プログラムでは、イスラム教のメッカ巡礼、キリストと仏陀の生涯、また様々な宗教における出生、婚礼、死に関わる儀式を説明しています。







これらのギャラリーの展示品には、9世紀から19世紀に渡る美しく彩飾されたコーラン、紀元前1100年にさかのぼる有名なエジプトの愛の詩を含む古代パピルス、西暦200年頃の最古の福音書やその他新約聖書などが含まれています。チェスター・ピーティに所蔵されている新約聖書の文書は、初期のキリスト教における基礎的な文献であり、コーランの写本はカリグラフィーと装飾的なディテールでイスラム教の真髄を美しく表現しています。また、中国、日本、チベット、南アジア及び東南アジアからの美しい巻物や宗教美術品も展示されています。

## アルフレッド チェスター ピーティ卿

アルフレッド・チェスター・ピーティは1875年に3人兄弟の末っ子としてニューヨークで生まれ、ニューヨークで教育を受けた後、探鉱技師としてコロンビア大学を卒業し、西部に渡りコロラドのデンヴァーの鉱山で岩を掘り起こすなどの下積みから仕事に励みました。働き者だったピーティは探鉱技師として国際的な名声を高め、1908年にニューヨークで探鉱コンサルタント業を創立し大成功を収めました。



1900年にグレース・マデレン・リチャードと結婚し、2人の子供を持ちましたが、1911年に婦人を腸チフスで失いました。健康状態が優れなかったピーティ卿は米国の探鉱業を離れ、ロンドンで新しいコンサルタント業を創立しました。1912年5月、ケンジントン・パレス・ガーデンにバローダ調の家を購入し、そしてその翌年ニューヨーク出身のエディス・ダンと再婚しました。

子供の頃から鉱物、中国の嗅ぎ煙草入れ、切手などを集めていたピーティは、大人になってからはヨーロッパやベルシアの写本などに収集分野を広げました。1914年にエディスと共にエジプトを訪問し、装飾されたコーランを美術骨董品マーケットで購入し、新しい収集分野に関心を広げました。



さらに1917年にアジアを旅行した時には、日本と中国の絵画もコレクションに加えました。豪華な挿絵の入ったもの、素晴らしい製本、美しいカリグラフィーなどに魅了されただけでなく、その歴史的価値も考え、文書の保存も重視していました。

チェスター・ピーティは、第二次世界大戦中に連合国側に戦略物資を供給した貢献に対して、後にナイト爵を授けられました。1950年にアイルランド移住を決意し、ダブリン南のシュルズベリー・ロードに美術収集のライブラリーを建設し、1954年に開館しました。1957年に、チェスター・ピーティはアイルランド初の名誉市民になりました。

ピーティが死去したとき、コレクションは一般の人々への公益信託として遺贈されました。チェスター・ピーティ・ライブラリーは、アイルランド政府から多大な支援を受けており、国立文化機関の一つにも指定されています。チェスター・ピーティのコレクションには、今も変わらずピーティ卿の精神が受け継がれています。

## 閲覧図書館

チェスター・ピーティ・ライブラリーには、多数の参考書籍を集めた閲覧室もあり、本の数は現在でも増え続けています。まず読書チケットを申請すると、時計塔の2階にある美しい部屋で本を閲覧できます。この部屋には、ピーティ卿がロンドンの自宅を建築した際に製作した中国風の美しい塗り天井が組み込まれています。マホガニーの本棚は、アイルランドの有名な家具会社、ヒックス・オブ・ダブリンによって1950年に作られたものです。

## 屋上庭園

展示ギャラリーの上に設置されている屋上庭園は、チェスター・ピーティ・ライブラリーの雰囲気を考えて造園、設計されており、落ち着いた庭園となっています。

